

第3学年英語科学習指導案

令和4年11月15日(木) 第2校時

1 単元名 身の回りのものや動物たちの心の声を英語の詩に表してみよう。

(Lesson6 Imagine to Act *NEW CROWN ENGLISH SERIES 3, SANSEIDO*)

2 単元について

本単元では、陸とジンの卒業スピーチに触れ、3人の登場人物と同じよう生徒達は「身の周りのものや動物たちになったつもりで」英語の詩を書く。登場人物達が自分の将来の夢や未来の展望を語っており、多くの卒業スピーチに触れることができ、身の回りのものや動物の立場に立って、それらに擬人化した心情や感情を詩として表現する活動を設定することにより、想像力を働かせ生徒一人ひとりの感性を生かした文章を書くのに適した内容である。言語材料としては、仮定法過去について学習する。仮定法過去は、学習指導要領の改訂で新たに追加された項目で、現在の事実と反することや起こる可能性の乏しいことを表す表現である。この学習を通して、直接法の条件文と仮定法過去の相違点に気づかせ、理解させることで、前学習指導要領上で直接法の条件文を用いて表現することが多かった表現を、正しい文法事項で表現することが可能であるとする。

指導にあたっては、単元の目標を明確にするため、単元の始めに、自分になりたいものや動物についてのアイデアをまとめてマッピングさせる。各授業においては、振り返りとして、その時間に学習した表現を使って一文を書く活動を積み重ねることによって、ゴールに設定した英詩を書く活動につなぐ指導を行う。

また、各活動と同様に、単元全体を通して、「自分ではない他の誰か、または何か」になった時のことを想起させ、「今の自分が置かれた現実にはないことや起こりえないこと」について、仮定法過去の表現を用いながら、ペアや全体で考えや思いを英語で語り合う活動を取り入れたい。その際、間違いを恐れず英語を言うことができるように、細かい文法の正確性を評価するよりも、表現しようとする意欲や伝えたい内容が大切であるということ伝えていきたい。

3 単元の目標

自分になりたいと思っているものや動物の心情を表した詩を書いたり、その書いた詩に関して意見や感想を述べたりする活動を通して、仮定法過去の表現を使ったまとまりのある英文を書くことができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

書くこと	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする
------	--

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	仮定法過去(if)の特徴や決まりに関する事項を理解している。 仮定法過去(I wish)の特徴や決まりに関する事項を理解している。	ものや動物の視点に立ち、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	ものや動物の視点に立ち、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

6 指導と評価の計画（8時間扱い）

時間	学習活動	知	思	態	評価規準【評価方法】
1	単元のゴールを知り、自分になりたいものや動物を決め、そのなりたい動物としてやってみたいことやできたらいいことをマッピングする。			○	<<主体的に学習に取り組む態度>> ・ALTの英語の詩を聞き、何になって、どんなことをしたいか理解しようとしている。 ・自分になりたいものや動物を決め、そのなりたい動物としてやってみたいことやできたらいいことをまとめる。 【行動観察、ノートの記述内容】
2	仮定法の特徴や決まりを確認する。	○			<<知識・技能>> ・ifを用いた仮定法の語順や文法を理解している。 ・自分が仮定したものや動物としてできることについて、ifを用いた仮定法で書くことができる。 【ノートの記述内容】
3	Get 1の本文を学習し、本文の内容に関する要約活動を行う。	○			<<知識・技能>> ・要約文を書くために、ifを用いた仮定法過去を含む英文の概要を捉えることができる。 【ノートの記述内容】
4	今まで継続して取り組んだことを尋ね合う活動を通して、現在完了形の継続用法の特徴や決まりを確認する。	○			<<知識・技能>> ・wishを用いた仮定法の語順や文法を理解している。 ・自分が仮定したものや動物としてできたらいいことについて、wishを用いた仮定法の文で書くことができる。

					【ノートの記述内容】
5	Get 2 の本文を学習し、ジンが提案したネコと話せる機械のように、身の回りであったら良いと思う機械を考え、発表する。	○			<p>≪知識・技能≫</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りであったら良いと思う機械について、理由や自分の体験談とともに4文程度の英語で話すために、wish を用いた仮定法過去を含む英文の概要を捉えることができる。 <p>【行動観察、ノートの記述内容】</p>
6、7 (本時)	陸のスピーチに登場する偉人達の気持ちになって意見や感想を書く。		○	○	<p>≪思考力・判断力・表現力≫</p> <p>≪主体的に学習に取り組む態度≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ライト兄弟によって飛行機が発明されていない世界を想像して自分の考えを友達に伝える活動を通して、現実にはないものを生み出すには何が必要かについて、本文の内容を踏まえた上で3文以上のつながりのある英文を書いている。 ライト兄弟によって飛行機が発明されていない世界を想像して自分の考えを友達に伝える活動を通して、現実にはないものを生み出すには何が必要かについて、本文の内容を踏まえた上で3文以上のつながりのある英文を書こうとしている。 <p>【行動観察、ノートの記述内容】</p>
8	単元を通して作成した詩を発表し、友達の意見や感想をもとに英詩を完成する。		◎	◎	<p>≪思考力・判断力・表現力≫</p> <p>≪主体的に学習に取り組む態度≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ものや動物の視点に立ち、自分の考えを整理し、友達の意見や感想を参考にしながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 ものや動物の視点に立ち、自分の考えを整理し、友達の意見や感想を参考にしながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。 <p>【行動観察、作品】</p>
後日	ペーパーテスト	◎	◎	◎	

学年学級		教科	英語	授業者	
1. 単元名・題材名	Lesson6 Imagine to Act			時	7/全8時間
2. 本時のねらい	陸のスピーチに登場する「空を飛ぶことへの熱い思い」をもって取り組んだ偉人達に思いをめぐらせ、新しいアイデアを生み出すにはどんなことが必要かについて、3文以上のつながりのある文章を書くことができるようにする。				
3. 本時に係る単元の評価規準	【学習指導案 「5 単元の評価規準〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉」に記載】				
4. 本時の評価規準	【学習指導案 「6 指導と評価の計画」に記載】				
5. 「努力を要する」状況の生徒に対する手立ての工夫	アイデアを発表させる前に、必ずペアでお互いに意見を言わせ、自分が伝えたい内容が英語でできないときは一緒に考えさせる。				
6. 展 開					
学習活動	指導及び支援			時間	備考
1. パートーク	○ ペアで英語で会話をを行い、英語で学習する雰囲気を作る。 " If you were an inventor, what would you make? "			3分	スクリーン
2. 前時の復習	○ ペアで本文を音読させ、わからない単語や表現を確認させる。			5分	
○ 本文の音読	○ 本文の内容に関する質問を行い、本文の内容を整理する。			5分	
○ 英問英答					
3. 本時の学習	○ 本時のめあてを提示し、課題を明確にする。			2分	
○ めあての提示					
めあて Let's think about Riku's speech deeply.					
課題 What is important for us to create new idea?					
○ 中心発問	○ 全体で答えを共有する前に、ペアで確認をし意見を伝えやすい雰囲気を作る。 ○ 間違いを恐れずに伝えられるように、文法的な細かいミスよりも伝える内容を評価する。			15分	スクリーン
<ul style="list-style-type: none"> • If there were not any airplanes now, what would happen to us? • When the Wright Brothers tried to fly with an airplane, what did people around them think about? • If you were the Wright Brothers and made a lot of failed experiments, what would you think? 					
○ 英作文	○ 課題に提示された質問に対する自分の考えを3文以上の英語で書かせる。 ○ 中心発問で考えた自分や他人の考えを参考にして書かせる。			15分	タブレット 端末
4. 振り返り	○ ロイロノート上でそれぞれが書いた英作文を共有する。 ○ 教師からのフィードバックを行う。			5分	タブレット 端末